

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語	5	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新編 新しい国語2 (東京書籍)』	『ウィニングプラス 国語2』(好学社), 『カラー 小倉百人一首』(京都書房), 『常用漢字ダブルクリア』(尚文出版), 『楽しい文法』(とうほう)

1. 学習の目標

国語による表現力と理解力とを育成し、人間関係の中で伝え合う力を高めるとともに、論理的な思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、現代の言語文化から伝統的な言語文化に触れるなど、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
様々な知識を得るための技能を身につけ、また適切にそれを用いることで語彙を豊かにしている。	感受性・論理性など思考や判断に必要な能力を磨き、考えをまとめてわかりやすく伝える力を身につけている。	左記の力を身につけることにおいて、自分の学びの振り返ることや学ぶことに対する粘り強さを発揮している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	未来へ 手紙の効用 短歌を楽しむ 短歌のリズムで表現しよう	詩の意味を捉え、読み方を工夫する。 言葉に関する随筆を読み、言葉について考える。 短歌の形式や表現について学ぶ。 短歌の表現の工夫などを捉えて鑑賞したことをまとめる。 自然や体験の描き方を工夫して短歌を創作する。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
		話し言葉と書き言葉 字のない葉書 辞書に描かれたもの	さまざまな言葉のあり方を知る。 文学作品を読み解く力を養う。同じ目標のもと、短め・長めの二作品を読む。	
		ハトはなぜ首を振って歩くのか	文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取り、自分の考えを持つことを学ぶ。	
		枕草子 助詞	女房文学が生まれた背景や作者の人物像について知る。 古典特有の言葉遣いや文法に慣れ、文章を正確に読解する。古典特有のリズムを味わいながら音読する。 口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。 論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。 また二作品を読み比べる。	
2	9	黄金の扇風機 サハラ砂漠の茶会 助動詞 走れメロス 徒然草	口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。 人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み味わう。 現代語訳を手がかりにして、内容を読み取る。 詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取る。 事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
		10 落葉松 「正しい」言葉は信じられるか 根拠を吟味して書こう 説得力のある提案をしよう	相互に根拠を吟味し、意見文を書き、感想を交換する。 説得力のある話の構成を考え、資料を作成し、プレゼンテーションを行う。 漢詩の形式を理解し、情景や作者の心情を捉える。 漢詩の味わい方を学ぶ。	

3	11	漢詩 敬語	口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。 古文の用言について学ぶ。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	12	古文文法基礎（用言 1）	物語を創作する。	
	1	いきいきと描き出そ う 坊ちゃん	文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。 心情が読み取れることばに注意して詩を読む。	
		私が一番きれいだったとき	登場人物の状況や気持ちを捉えるとともに、当時の武士の生き方について読み取る。	
	2	平家物語	古文の用言について学ぶ。	
	3	古文文法基礎（用言 2） 問題演習	総合力を磨く。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。
定期テストの前1週間には原則として問題演習（練成テキスト）を取り入れる。

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	歴史的分野	4	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい社会歴史』(東京書籍)	『よみとき総合歴史 神奈川県版』(浜島書店), 『中学実力練成テキスト 社会 歴史』(文理)

1. 学習の目標

歴史的分野からの広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の大きな流れと各時代に特色などを我が国の歴史と関連ある世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を年表や報告書などにまとめている。	歴史的事象から、課題を見いだし、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断する。また、学び得た知識を発表や討論などを通して他者に伝えることができている。	歴史的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追求し、広い視野に立って我が国の文化と伝統について考え、国民としての自覚を持っている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 歴史のとらえ方 第2章 古代までの日本 1節 文明のおこりと日本の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・中学の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高める。 ・人類が出現し、やがて世界の古代文明が生まれたこと、また日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解する。 	定期試験 提出物 授業への取り組み
	5	2節 古代国家の歩みと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> ・大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを、聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、摂関政治を通して理解する。また、国際的な要素を持った文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを、資料流などを活用して捉える。 	
	6	第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の社会から生まれた武士が次第に力をつけ、ついに鎌倉幕府が成立するに至った経緯のあらましを理解する。 ・鎌倉時代の宗教と文化に見られる新しい動きを理解し、当時の社会との関連を考える。 ・鎌倉幕府滅亡、南北朝の動乱、室町幕府の成立、応仁の乱と戦国大名の登場を通して、武家政治の展開を理解するとともに、室町時代の新しい文化の特色を理解し、今日の文化との関連を学ぶ。 	
	7	2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動	<ul style="list-style-type: none"> ・元寇、日明貿易、琉球の国際的役割を通して、東アジア世界との関わりを考え、日本の歴史に与えた影響を理解する。 ・諸産業が発達し都市や農村に自治的なしくみが生まれるなど、民衆が成長していった事を理解する。 	

2	9	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解し、鉄砲とキリスト教の伝来を中心に日本の政治や文化に与えた影響を考える。 織豊政権下で新たに成立した近世社会の特色を理解する。東南アジアとの貿易、キリスト教への対応、朝鮮侵略を通し、織田・豊臣の時期の対外関係のあらましを理解する。	定期試験 提出物 授業への取り組み
	10	2節 江戸幕府の成立と鎖国 3節 産業の発達と幕府政治の動き	江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解し、江戸時代の身分制度と武士・百姓・町人の暮らしに関心を持ち、身分によるきびしい差別があった理由を考える。 貿易の振興から鎖国へと対外政策の変化が国内政治に与えた影響と、朝鮮・琉球・アイヌの人々の交流など鎖国体制下の対外関係を理解する。 身近な地域の歴史的事象などから、農業など諸産業の発達の様子を理解し、諸産業が発達した理由や影響を考える。幕府の政治改革を取り上げておもしろい内容を理解し、改革が必要になった理由を考える。 華やかな町人文化や地方の生活文化の広がりや、江戸時代の学問の発達の中に、新時代を切り拓く動きが見られることを理解する。	
	11	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国	開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解する。 開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考える。	
	12	2節 明治維新	明治維新の経緯に関心を高め、意欲的に追究する。 明治維新を諸改革の内容を通して理解し、短期間に近代国家の基礎を整えた政府や人々の努力や生活の変化について多面的・多角的に捉える。	
	3	1	3節 日清・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本	
2	2節 世界恐慌と日本の中国侵略	世界恐慌の原因について理解するとともに、各国の対応の違いを考え、ファシズムの台頭について自分の意見を持つ。 ・日本の大陸進出、軍国主義化の経緯を、地図などを用いて具体的に理解する。		
3	3節 第二次世界大戦と日本	第二次世界大戦の原因や概要について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら考える。 戦争体験者などに、積極的に体験談を聞く態度を持つとともに、戦争の被害と加害の実態を調べ、聞こうとする態度を身につける。		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学	5	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがる数学2』(啓林館)	システム数学1 幾何編 改訂版 (啓林館) システム数学2 代数編・幾何編 (啓林館) システム数学1 幾何編 改訂版 問題集(啓林館) システム数学2 代数編・幾何編 問題集(啓林館)

1. 学習の目標

中学生として基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
いろいろな場面で数学の果たしている役割を知り、原理や法則、定理、公式を理解し、活用している。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考え、対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ、問題を解決している。	興味、関心をもって主体的に数学を見いだし、発展させており、自ら進んで授業に積極的に取り組んでいる。また、提出物をきちんと出している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○幾何編 (システム数学1) 第3章 図形の性質の調べ方	5単位のうち1単位を習熟度別演習とする。 1. 平行と合同 2. 証明	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	5	第4章 図形の性質と証明	1. 三角形	
	6		2. 四角形	
	7	第5章 資料の活用	1. 資料の傾向 【習熟度別演習】 1年生の復習, 2年生の授業内容の演習	
2	9	○代数編 (システム数学2) 第1章 式の展開と因数分解	1. 式の展開と因数分解 2. 式の計算の利用	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	10	第2章 平方根	1. 平方根 2. 根号をふくむ式の計算	
	11	第3章 2次方程式	1. 2次方程式 2. 2次方程式の利用	
	12		【習熟度別演習】 2年生の授業内容の演習	

3	1 2 3	○代数編 (システム数学2) 第4章 関数 $y = ax^2$	1. 関数とグラフ 2. いろいろな事象と関数 【習熟度別演習】 2年生の授業内容の演習	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
---	---------------------	-------------------------------------	---	---------------------------------

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (物理・地学)	2	中2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へ広がる サイエンス 2』(啓林館)	『中学錬成テキスト 理科 2年』(日本教材出版)

1. 学習の目標

様々な現象に疑問を持ち、実験から原理を学び、論理的に現象を理解する。さらに、授業での知識を問題演習により整理し定着する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
現象を論理的に説明できている。さらに、表・グラフの整理、数値を用いた問題を解いている。	物理的な思考を身に付けている。さらに、表・グラフの整理では数値を用いて表現できている。また、現象を論理的に説明できている	授業に積極的に取り組む。さらに、提出物を提出できている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	地球の大気と天気の変化	空気中の水の変化 (4月中は動画を見て学習) 霧のでき方 雲のでき方 空気中に含まれる水蒸気の数	定期試験 授業への取り組み
	5		4月中に動画等で学習した内容の復習 空気中の水の変化 地球をめぐる水 地球環境の変化による天候の変化	
	6		天気の変化と大気の動き 風がふくしくみ 大気の様子 大気の動きによる天気の変化	
	7			
	9			
	2		9	
10				
11 12		電流の正体 静電気 静電気と電流の関係 電流の正体		
3	1	電流と磁界	磁石の性質とはたらき	定期試験 授業への取り組み
	2		電流が作る磁界	

	3		モーターのしくみ 発電機のしくみ 問題演習	
--	---	--	-----------------------------	--

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (生物・化学)	2	中2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがる サイエンス2』(啓林館)	『最新理科便覧神奈川県版』(浜島書店), 『中学実力錬成テキスト理科2年新訂版』

1. 学習の目標

物質を分解するとどうなるか、分子・原子について理解する。物質の化学反応について、そのしくみと質量・熱の変化について理解する。生物の基本単位である細胞を理解し、さらに動物の生活や、からだのつくりの多様性と共通性を理解する。動物が、外界からの刺激に対してどのように受け取り反応しているか、また、からだの働き・動きについて理解する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
科学的な事柄・現象に関する観察・実験の技能を習得し、観察・実験などを通して、科学的な事柄・現象に関する基本的な概念や原理・法則を身につけている。	科学的な事柄・現象の中に問題を見だし、事象を論理的に考察することにより問題を解決し、科学的に判断することができる。また、それらを的確に表現することができる。	科学的な事柄・現象に興味を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的な見方を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	
1	4	【化学分野】 1章 物質の成り立ち	物質を加熱したときの变化について炭酸水素ナトリウムを例にし、水溶液に電流をながしたときの变化について水を例にして学ぶ。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	5	2章 物質の表し方	原子・分子について学び、また分子の結びつきについて理解する。	
	6	3章 ささまざまな化学変化	物質を表す記号と化学式について学ぶ。 物質が結びついて、新しい物質ができる化学変化について学ぶ。 物質が燃えるときの化学変化のしくみを理解する。 記号をつかって化学反応を表すことを知る。 化学反応式の意味について学習する。	
2	9	4章 化学変化と物質の質量	化学変化の起こる前後で、物質の質量がどう変化するかを調べ、質量保存の法則を理解する。 金属を熱したときの質量変化を調べ、その結果から金属の質量と加増する酸素の割合を調べ、原子どうしが決まった割合で結びつくことを理解する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	10	【生物分野】 1章 生物のからだをつくるもの 2章 植物のからだのつくりとはたらき	細胞は生命体の基本単位ということを理解し、細胞のつくりを学ぶ。 光合成と呼吸のはたらきやしくみについて学ぶ。 光合成や呼吸に伴う植物体内での物質移動について、植物のつくりを通して学ぶ。	
	11	3章 動物のからだのつくりとはたらき	動物は食物をどのように取り入れ、吸収し、エネルギーを得ているのか、そのしくみを理解する。 動物の呼吸や、動物が食物を吸収した後、不要な物質をどのように排出しているのかを学ぶ。 物質を運ぶ循環系について学ぶ。	

3	1	4章 動物の行動のしくみ	動物が外界からの刺激を受けてから反応をするまでの経路を学ぶ。各感覚器官で受け取り，その刺激が脳や脊髄に伝えられ，筋肉において反応が起こるまでのしくみを理解する。	定期試験 小テスト 提出物 授業への取り組み
	2	問題演習	問題演習を通し，化学変化について理解を深める。一年間学習したことを，形成的・横断的に理解する。	
	3			

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学生の音楽 2・3上』(教育芸術社) 『中学生の器楽』(教育芸術社)	なし

1. 学習の目標

音楽の基礎的なことを学習すると共に、歌唱や器楽等の楽しさを学習する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	歌唱	「翼をください」の歌唱練習を行う。 「翼をください」について調号、反復記号等を学習する。	期末試験 提出物 授業への取り組み
	5	歌唱	「夏の思い出」の音取りを行う。 「夏の思い出」の強弱記号やアーティキュレーションについて学習する。楽曲にふさわしい表現を探り、歌唱練習を行う。	
	6	音楽鑑賞	ベートーヴェン交響曲第5番「運命」の鑑賞を行う。 基礎的なアナリゼを行い、形式・使用楽器等について学習する。	
	7	期末試験		
2	9	ソルフェージュ 器楽	音の聴き取り練習を行う。 アルトリコーダーの練習を行う。	実技試験 期末試験 提出物 授業への取り組み
	10	器楽 DVD鑑賞 合唱練習	アルトリコーダーの練習を行う。 ミュージカルの鑑賞を行う。 合唱コンクール課題曲の練習を行う。	
	11	実技試験 音楽鑑賞 合唱練習	アルトリコーダーの実技試験を行う。 オペラ「アイダ」の鑑賞を行う。 合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
	12	期末試験		
3	1	合唱練習	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	実技試験 学年末試験 提出物 授業への取り組み
	2	合唱練習 実技試験	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。 合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。	

	3	実技試験 学年末試験	合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。 1年間のまとめ	
--	---	---------------	--------------------------------	--

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
芸術	美術	1	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『美術2・3』 (光村図書)	なし

1. 学習の目標

主体的に美術の授業に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めるようにする。対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的、総合的な考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	遠近法	遠近法について学ぶ。透視図法の作図法を用い、作品制作を行う。	授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験
	5	投影図		
	6	透視図法		
	7	鑑賞		
2	9	デザイン	直線や円など単純な形態を組み合わせた構成を考え、「同系、類似、補色の配色」で彩色する。	授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験
	10	色彩構成		
	11			
	12	鑑賞		
3	1	絵画技法 さまざまな表現	コラージュ技法を使って「空想の世界」を表現する。	授業への取り組み 提出物 出席状況 学年末試験
	2	コラージュ		
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合があります。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健体育	3	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『保健体育』(大修館書店)	『健康手帳』(神奈川県学校保健連合会)

1. 学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を次のとおり育成する。
 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。また、運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うようにする。さらに、生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるように運動、体力の必要性について理解している。また、個人生活における健康・安全について理解しているとともに、基本的な技能が身に付いている。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的でよりよい解決に向けて、学習したことを基に、思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に表現する力が身に付いている。	生涯を通じた心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度が身に付いている。また、運動における競争や協働の経験を通して、公正・協力・役割を果たす・一人一人の違いを認めるなどの意欲を持ち、健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動に取り組んでいる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体づくり運動 集団行動	整列、行進、方向転換、列の増減、人員点呼、ラジオ体操	授業への取り組み 行動観察 実技試験 期末試験 提出物 出席状況
	5	新体力テスト	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、持久走、50m走、ハンドボール投げ	
	6	○球技 卓球 タッチラグビー Tボール	ストローク、サービス、スマッシュ、試合 パス、キック、簡易ゲーム、試合 キャッチボール、打撃、守備、試合	
	7	○保健 健康と環境	1. 環境の変化への体の適応 2. 快適で能率のよい環境 3. 衛生的な飲料水の供給 4. 空気の汚染と換気 5. し尿とごみの処理 6. 私たちの生活と環境問題	
2	9	○水泳 クロール (平泳ぎ) ※習熟 度に合わせて	1年次の復習(けのび、板キック、クロール) 面かぶりクロール、クロール キック	授業への取り組み 行動観察 実技試験 期末試験 提出物

		○ダンス	ソーラン節（リズムダンス、フォークダンス） 課題ダンス	出席状況
	10	○陸上競技・器械体操（選択） 走り幅跳び	基本的な跳躍姿勢の習得（助走、踏み切り、空中動作、着地） 記録会	
	11	器械体操（選択制） （平均台・跳び箱） 平均台	1年次の復習（飛び込み前転、背支持倒立、伸膝前転、伸膝後転） 開脚とび、かかえこみとび、台上前転、発展技等 発表会 歩行（前進、後進）、その場伸身跳び、かかえ込み跳びおり、ポーズ系、正ターン	
	12	○保健 傷害の防止	1. けがの原因と防止 2. 交通事故によるけがの防止 3. 犯罪被害の防止 4. 自然災害への備えと避難 5. 応急手当の基本 6. けがの応急手当 7. 心肺蘇生法	
3	1	○陸上競技 長距離走	グラウンド周回コース 記録測定 マラソン大会	授業への取り組み 行動観察 実技試験 学年末試験 提出物 出席状況
	2	○武道（選択） 剣道 柔道	1年次の復習（礼法、足さばき、素振り、空間打突（基本）） 竹刀で受ける打ち込み（面、小手、胴） 竹刀で受ける約束稽古 防具の着脱 1年次の復習（礼法、受け身、横受け身、前回り受け身等） 寝技（袈裟固め、横四方固め、上四方固め） 体さばき 八方崩し	
	3	○体育理論 運動やスポーツの効果と安全	1. 運動やスポーツの体への効果 2. 運動やスポーツの心への効果 3. 運動やスポーツの安全なおこない方	

※ 上記の内容は、進捗によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語	6	中2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『NEW TREASURE STAGE 1・2』(Z会出版), 『Sunshine English Course 2』(開隆堂)	『NEW TREASURE STAGE 1・2 CDs for Students』(Z会出版), 『NEW TREASURE STAGE 1・2 文法問題集』(Z会出版), 『NEW TREASURE 英単語 STAGE2』(Z会出版), 『Fun Reader 2』(数研出版), 『新ユメタン0』(アルク)

1. 学習の目標

正しい英語の音を理解し、聞き分け、発音できるようにする。ディクテーションやシャドーイング、オーバーラッピングなどのトレーニングを行い、英語力を向上できるようにする。基本的な英文法を理解し、反復練習により定着できるようにし、発話、ライティング、読解をできるようにする。また、本文や基本例文を大事にし、暗唱できるようにする。文法の問題集を使い、英文を定着することを目標とする。
--

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
英語学習を通じて異文化理解を深めている。また、音読や英作文を反復して行い、英文を暗記し発話や英作文に活かしている。	基本的な文法を理解し、英作文や会話表現とのつながりを意識することができている。また、それを発展させ、自身の考えを表現することができている。	主体的に授業に参加し、大きな声で発音し、英語を聞き、書き、文章を読む。家庭学習の時間を毎日取り、英語習得に向けて努力している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	L. 11 未来を表す表現 (STAGE 1)	未来の予定についてはなせるようになる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 出席状況 行動観察
	5	L. 12 助動詞 (STAGE 1)	相手に依頼したり許可を求めたりできるようになる。	
	6	L. 13 There is [are]~の文 (STAGE 1)	身のまわりにあるものについて説明できる。	
2	7	L. 14 比較 (STAGE 1)	ものごとを比較して説明できる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 出席状況 行動観察
	9	L. 1 助動詞表現 (STAGE 2)	相手を勧誘したり申し出をしたりできるようになる。 文の構造を理解する (SV/SVC/SVO)	
	10	L. 2 不定詞 (STAGE 2)	目的や用途について話せるようになる。	
	11	L. 3 副詞節を導く接続詞 (STAGE 2)	時や条件、理由を添えて話せるようになる。	
	12	L. 4 名詞節を導く接続詞 (STAGE 2)	「…ということ」という内容や「人にものを与える」などについて話せるようになる。 文の構造を理解する (SV00/SVOC)	

3	1	L. 5 動名詞 (STAGE 2)	自分の趣味や興味のあることを伝えられるようになる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 出席状況 行動観察
	2	L. 6 現在完了 (STAGE 2)	過去に行ったことや過去の状態を、現在と結び付けて話せるようになる。	
	3	L. 7 受動態 (STAGE 2)	相手にされたことを伝えられるようになる。 SVOO/SVOC の受動態	

- ※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。
- ※ 習熟度別の授業では、文法の復習，実力テスト対策，検定試験対策を行う。
- ※ 授業では取り扱えない単元は季節講習で学習する。
- ※ 朝 SHR の時間を使い、単語と語句の小テストを行う。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	技術分野	1	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい技術・家庭 技術分野』(東京書籍)	なし

1. 学習の目標

生活を支えるエネルギー変換について知る。また、コンピュータを通してデジタル表現や情報セキュリティ技術を知る。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス	エネルギー変換と利用について考える。	授業への取り組み 提出物 期末試験
		電気エネルギーの変換とその利用	エネルギー変換について知る。 電気を作る、電気を供給する仕組みを知る。	
	5	電気機器の保守点検	電気回路について考える。 電気機器を安全に使用する。 回路計の使い方を知る。	
2	6	機械の運動を伝える仕組み	機械の運動を伝える仕組みを知る。 機械の共通部品について知る。	授業への取り組み 提出物 期末試験
			7	
	9	往復運動の仕組みを知る。		
3	10	機械の保守点検	保守点検の必要性を知る。	
	11	コンピュータと情報通信ネットワーク	情報通信ネットワークを知る。 情報セキュリティ技術を知る。	
	12	デジタル作品の設計と製作	情報の安全な利用を知る。	
3	1	プログラムによる計測・制御	計測・制御の仕組みを知る。	授業への取り組み 提出物 学年末試験
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	家庭分野	1	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して』(東京書籍)	なし

1. 学習の目標

中学生の食生活と栄養について健康によい食習慣について考え、栄養素の種類と働きを知り、必要な栄養の特徴について理解する。さらに、日常食の献立や食品の選び方、地域の食文化について理解する。
--

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自分の生活について関心をもち、充実・向上を目指し主体的に取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。	さまざまな分野で課題を見いだしてその解決を目指し自分なりに工夫し、創造している。	生活や技術に関する知識や技能を身につけ生活を充実・向上するために主体的に実践しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	食生活と栄養	自分の食生活を振り返り課題を把握し、中学生の生活習慣の課題を考える。	授業への取り組み 小テスト 期末試験 提出物 出席状況
	5	現代の食生活と課題	現代の食生活の現状および課題を把握し、健康な心身をつくるための食生活とは何かを考える。	
	6	中学生に必要な栄養	栄養素の種類と働き、五大栄養素、水の働きなど食べた食品がどのような働きをするのか理解する。	
	7	食品にふくまれる栄養	自分の好きな食品にはどのような栄養素が含まれているのか成分表で調べ理解する。	
2	9	献立作りと食品の選択	「6つの食品群」による摂取量の目安を基に食品バランスの良い1日分の献立を立て、家族の食事を考える。	授業への取り組み 小テスト 期末試験 提出物 出席状況
	10	食品にふくまれる栄養	中学生に必要な栄養の特徴を理解し、「6つの食品群」、食品摂取量の目安について理解する。	
	11	生鮮食品と加工食品の特徴	身近な食品の品質を見分けること、用途に応じて食品を適切に選択できるように理解する。	
	12	食品の選択と購入	食品表示の見方、五感、昔からの知恵等により、無駄のない食品の取り扱いを考え理解する。	
3	1	調理と食文化	安全と衛生に気をつけて、日常食の調理をすること、食品の調理上の性質を知り、適切に調理することを理解する。	授業への取り組み 小テスト 学年末試験 提出物 出席状況
	2	日本の食文化	日本のさまざまな行事食を学び、食文化について理解する。	
	3	よりよい食生活を目指して	現在のわが国の食についての問題点、自分の食生活をみつめ改善点を考える。食の安全について考える。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
道徳	道徳	1	中2学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学道徳 きみがいちばんひかるとき』(光村図書)	なし

1. 学習の目標

よりよい生き方とは、どのようなものかを考える。また、道徳的な問題を見つけ、その問題について考えを深め、自分で生きていけるようにする。道徳を学ぶことで、多様な感じ方や考え方、ものの見方を身につける。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自分の意見を冷静に、秩序立てて表明できている。	他人の意見を尊重し、多目的に物事を見て判断する姿勢が身についている。	自ら積極的に考える姿勢を持っている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1 道徳の授業を始めよう	道徳で何を学ぶのか、どうやって学ぶのか、なぜ学ぶのかを考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力 観点別評価は行わない。
		2 テニス部の危機	集団の一員として、よりよくあるために大切なことは、何かを考える	
	5	3 カラカラカラ	自ら考えて行動するとは、どういうことかを考える。	
		4 ジョチュウ	考え方や立場の違いを尊重し合うためには、どんなことが大切かを考える。	
		5 松葉づえ	「友情」とは、どういうものかを考える。	
		6 消防団	社会の一員として地域や社会に関わっていくには、どのような思いが大切かを考える	
	6	7 明日、みんなで着よう	「いじめ」をなくすために大切なことは何かを考える。	
		8 命が生まれるそのときに	「生きている」ことの尊さについて考える。	
		9 許せないよね	責任ある行動とは、どのようなものかを考える。	
		10 あと一歩だけ、前に	自分を見つめ、生きることについて考える。	
	7	11 異なり記念日	「異なり記念日」を読んで、家族のつながりについて考える。	
2	9	12 夢中になるのは悪いこと	望ましい生活習慣について考える。	
		13 秀さんの心	礼儀には、どのような意味があるのかを考える。	
		14 段ボールベッドへの思い	働くことには、どんな意味があるのかを考える。	
	15 一枚の布から	伝統を受け継ぐとは、どういうことかを考える。		
	10	16 私の町	ふるさとを思う心について考える。	
		17 スカイツリーにかけた夢	新しいものを生み出していくときに大切なことは何かを考える。	
		18 民主主義と多数決の近くて遠い関係	集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは何かを考える。	
		19「桃太郎」の鬼退治	「桃太郎」にとって、鬼退治をすることには、どのような意味	

			があったかを考える	
	11	20 むこう岸には	他国の人と理解し合うために大切なのは、どんな心かを考える。	
		21 僕の仕事場は富士山です	自然を守るとは、どういうことかを考える。	
		22 宇宙の始まりに思いを寄せて	感動は、人に、どんな力を与えるかを考える。	
		23 つながる命	「命」とは、どういうものかを考える。	
	12	24 優しさの光線	自分の「よさ」について考える。	
3	1	25 人って、本当は？	人のもつ強さや弱さを考えながら、自分のよりよく生きる道について考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 ポートフォリオへの入力 観点別評価は行わない。
		26 夢の力	夢をもつことは、人生を、どう変えていくのかを考える。	
		27 嫌われるのを恐れる気持ち	自らを高めていく生き方とは、どんな生き方かを考える。	
	2	28 気づかなかったこと	日常の生活で、人と接するとき大切なことは、何かを考える。	
		29 クロスプレー	公平な心をもつとはどういうことかを考える。	
		30 泣きすぎてはいけない	「生きる」ということについて考える。	
3	31 道徳の学びを振り返ろう	1年間の学びを振り返り、「自分のルール」を作る。		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		2 (70 時間)	中学2学年 全クラス

使用教科書	副教材
なし	なし

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見つけ、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	フィールド実習	農作物の種まき・植え付け (8時間)	
	5	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	6			
7	8	食品加工実習	1年次の農場実習から継続する食育教育の一環として、普段食べている豚枝肉を解体から見学し、ソーセージの段階まで調理することによって、食肉のありがたさを理解する。(8時間：事前・事後指導を含む)	
2	9	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	10			
	11	10	職業体験	
3	12	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	1			
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。